

登録コード	MA004600	開講年度	2026			
授業科目名	遺伝医療と社会				担当教員	古庄 知己
英文授業名	Genetic Medicine and Society				副担当	横川 吉晴
単位数	1	講義期間	不定期	曜日・時限	金曜・5時限・不定期	対象専攻 / 学年
講義室	多目的講義室		授業形態		授業科目区分	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(医科学)・医科，MS25カリ(医科学)・医科，MS24カリ(医科学)・医科，MS23カリ(医科学)・医科					
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				公衆衛生学の基礎を学ぶことで、遺伝医療と社会について学ぶ。	
(2)授業の概要	・ 公衆衛生学講義					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	・ 公衆衛生学の基本を学ぶ。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOS）	・ 公衆衛生学の基本事項を概説できる（疫学、疾病予防と健康管理、環境健、感染症予防、母子保健、高齢者の保健・医療・福祉、産業衛生、生活習慣病予防、精神保健、社会保障制度）。					
(5)授業計画	・ 保健学科講義「公衆衛生学」（横川吉晴先生）（講義：2時間x15回）					
(6)授業の進め方	・ 講義					
(7)履修上の注意 ・事前事後学習の内容	・ 担当教員より指示					
(8)成績評価の方法	・ 筆記試験：60点/100点満点以上 ・ レポート：可以上					
(9)成績評価の基準	・ 筆記試験：授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある(可)」，応用問題が解ければ「やや上にある（良）」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある（優）」，例題よりもかなり難しい応用問題が解ければ「卓越している（秀）」 ・ レポート：(i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	古庄 知己 他 遺伝医学教室（内線5207）					
【テキスト，教材，参考書】	【教科書】 ・ 鈴木庄亮、久道茂編「シンプル衛生公衆衛生学 2024」南光堂 【参考書】 ・ 「国民衛生の動向（2024）」厚生統計協会					